

令和7年度第2回君津市地域公共交通会議 会議録

- 1 名 称 君津市地域公共交通会議
- 2 開催日時 令和7年10月14日（火）午後2時00分から3時06分
- 3 開催場所 君津市役所 5階大会議室
- 4 議 題 JR久留里線（久留里～上総亀山間）の代替交通に関する住民説明会を踏まえた対応の方向性等について
- 5 報告事項 (1) コミュニティバス中島・豊英線等の進捗について
(2) ファースト・ラストワンマイルに対応した移動手段の検討について
- 6 配布物 令和7年度第2回君津市地域公共交通会議資料

7 出席委員 19名

荒井 淳一	菅井 規	秋葉 岳人	成田 斉
伊藤 昌央	手塚 真一	高橋 晴樹	藤代 純一
小林 喜美	能城 正巳	倉田 信一	葉山 秀夫
江澤 啓至	齊藤 敦	尾関 崇	亀田 達也
榎本 英樹	藤井 敬宏		

代理出席

手嶋 一匡（伊藤 貴夫 代理）

欠席委員

川名 正志 真木 範幸

8 オブザーバー 1名

市野 将英（国土交通省関東運輸局交通政策部交通企画課）

- 9 事務局
- | | | |
|------------|------|--------|
| 企画政策部 | 部長 | 津野 広昭 |
| 企画政策部 | 次長 | 栗坂 達也 |
| 企画調整課 | 課長 | 中村 峰之 |
| 企画調整課交通政策室 | 室長 | 佐久間 貴幸 |
| 企画調整課交通政策室 | 主任主事 | 久保 亮 |
| 企画調整課交通政策室 | 主事 | 森田 裕斗 |

10 公開または非公開の別 公開 ・ 非公開

11 傍聴者 21名

12 発言の内容

冒頭、事務局（佐久間室長）の進行により開会。

（佐久間室長）

【オブザーバー・代理出席者の報告】

(荒井会長)

皆様、こんにちは。副市長の荒井と申します。

委員の皆様におかれましては、大変ご多用の中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃から本市の交通行政に対しまして、格別なるご支援・ご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、今日の会議では過日、開催したＪＲ久留里線（久留里～上総亀山間）の代替交通に関する住民説明会を踏まえた対応の方向性等を議題とし、現時点において出されたご意見と今後の考え方を整理するとともに、今後の取組み等を報告させていただきます。

その他にも、君津市地域公共交通計画に基づいた取組みの進捗状況をご報告申し上げます。

市としましては、今後も、利便性が高く持続可能な公共交通体系の構築に向け、関係機関と連携しながら着実に組んでいく所存でございます。

委員の皆様におかれましては、引き続き専門的知見から忌憚のないご意見を頂戴しますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。

(佐久間室長)

【資料確認】

(荒井会長)

それでは、しばらくの間、進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

さて、本日の出席委員は、１９名で定足数に達しておりますので、これより、令和７年度第２回君津市地域公共交通会議を開催いたします。

なお、本日の会議録署名人でございますが、成田委員を指名したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、早速、議事にはいります。

まず、議題１「ＪＲ久留里線（久留里～上総亀山間）の代替交通に関する住民説明会を踏まえた対応の方向性等について」事務局からの説明を求めます。

(中村課長)

議題１「ＪＲ久留里線（久留里～上総亀山間）の代替交通に関する住民説明会を踏まえた対応の方向性等について」

～ 資料に基づき説明 ～

(荒井会長)

議題１につきまして、質疑やご意見等がございましたら、お願いします。

(江澤委員)

まず、３地区で住民説明会を開催していただき、また、その際に出たご意見を取りまとめていただきまして、ありがとうございます。

多くの意見が運行ルートに関するものかなと思いますが、この意見の中には可能性のあるものと少し難しいのではないかなと思われるものも見受けられました。

また、子供たち、学生の保護者に対する費用負担については、これまでと同額もしくはそれ以下で検討されているようですが、この点については是非よろしく願いいたします。

次に、高齢者の交通手段についてですが、上総地区は免許証を返納すると非常に生活しづらい地区でございますので、市街地の方々と同じような公共のサービスを受けられるように、ぜひとも頑張っていただきたいなと思います。

あと、住民説明会を実施いただいた後で、全ての自治会長さんではないのですが、どうだったのかなと数人に話を伺いました。

そうした中で、ちょっとした自治会の集まりとか会議とかの中でも、「こうなるんだ」、「バスが出るんだってよ」とか、様々な意見が出ていたそうです。

代替交通案に住民の皆さんが関心を持っていたということでも非常にいいことかなと思いますが、今後、そういった意見をどのように収集していってくれるのかなと。

意見を反映できるものと難しいものがあるかと思いますが、少しでも多くの意見を聞いていただきたいなと思っておりますが、そのことについてはいかがでしょうか。

(中村課長)

まず、ルートにつきましては、ご案内のとおりデマンドタクシーが小櫃、上総エリアで運行してございますので、そことの競合にならないように、うまく定時定路線型のバスとデマンド交通を棲み分けながら地域の利便性の向上に努めてまいりたいと考えております。

また、運賃につきましては、特に高校生の負担増につながらないように、これまでの鉄道運賃以下の金額となるよう、その仕組みも含めて検討していければと思っております。

次に、高齢者の移動手段ということで、特に免許返納された方への対応というのが課題であると認識はしております。

そのような観点からも、今回のバス運行計画案につきましては、バス停留所の場所や箇所数、あるいはその目的地へのダイレクトな接続といったような部分も含めて、きめ細かな運行計画になっていようかなと思っております。

引き続き説明会で出された意見なども精査させていただきながら、必要な調整を行ってまいります。

最後に、個別のご意見に対する対応につきましては、今後、各自治会長さんにご案内をし、1件1件のご要請に応じて説明をさせていただく中で、先ほどお話のあったような事柄についても確認をしながら、より良いバス交通の運行につながるよう努めてまいりたいと思っております。

(藤井委員)

まず、3地区で住民説明会を実施されたということで、一昨年度から千葉県を事務局として進められた検討会で打ち出された方向性を、君津市として、自分事として丁寧に取り組まれていることにつきまして、座長を務めていた立場として感謝申し上げます。

それを受けての発言になりますが、今度は公共交通会議の委員として申し上げます。

これからこの地区についての代替交通が検討されてくる、そういう時期に入ってきたと認識しております。

そうした中で、12月の地域公共交通会議で、具体的な次のプロセスを提示されるとい

うことですが、やはり今回の大きな取り組みの中で、今のご質問にもありましたように生活交通と、子供たちの通学支援の交通、それから地域固有の財産である観光交通、この3つがこの地域にとっては非常に大きな価値を有していると思います。

その中で、今回、臨時便を含めた対応や、子どもたちの通学支援、そういったところにきちんと向き合っていたいただいて、その支援策の方向性を出していただいたことは、良かったと感じています。

次に、高校生の通学費用についてですが、これは君津に限ったことではございません。

他の自治体でも、総合計画等を市の上位計画と位置付け、移住・定住の取り組みを進めようというところが非常に多くございます。

その中で、特に女性や子どもたちがどんどん都心部へ移住してしまう。これを抑制するためにも、しっかり学べる環境を整えるということが自治体の大きな目標になってきております。

また、子どもたちの学習の選択肢についても、非常に大きな柱として各自治体が打ち出してきております。

そうした中で、この上総地区においても、通学支援を行うことによって、高校の選択の場が広がるといったようなことが当然起きてくると思います。

例えば、千葉県多古町では、デマンド交通を通常より1時間早い通学型として提供することで、高速バスの多古本線を利用できる高校生が増え、高校の選択が広がったという事例もあります。

そういった面からも、今回の通学支援については、JRさんからの支援なども含めて総合的に整理されると思いますが、生活交通全般に関しては、基本的に事務局となる自治体が、子どもたちや住民の移動・生活をどう検討していくか、いわばナショナルミニマムの移動の担保をどう図るか、その方向性を見据えて進めていかなければならないというところで、子どもたちの通学支援について、どのような具体策を提示していくのか、それを見える化していただきたいというのが要望でございます。

また、その時期としては、やはり4月が一番望ましいかと思います。

その後は夏休み明けということになりますが、できるだけ学年のスタート段階で高校選択などができるよう、時間的な余裕を持った移行措置がとれるよう、あわせてご検討いただきたいと思います。

そのためには、地域公共交通会議の次回以降の会議において、具体的にこの代替交通の動きをロードマップとして、どのように見える化していくかを、事務局において関係団体等ともご協議の上、示していただけると、地域の方々のイメージがより具体的に広がると思います。

先ほどのご質問にもありましたが、地域の中でも、「どうやらバスが通りそうだよ」といった話が出ているとのことでした。

地域の皆さんが自分たちの地域でいつ頃できるのかと目標を持って見通せるようになると、生活のイメージが広がり、それに応じた具体的な支援の検討もより細分化されていく状況になると思います。

そのような段階に至るまで、ぜひ丁寧に進めていただきたいと思います。

最後になりますが、地域振興策についてです。

今回、後ほどJRさんから沿線での取り組みについて、別途、配布資料についてのご説明があるかと思います。

この振興策についても、地域の活力を生かすために何ができるか、鉄道への注目が高い一方で、この地区では道路の延伸も近年進んでおります。

そのため、千葉県内のこの地域における道路ネットワークの中で、観光需要そのものが交通モードの転換とともに変化してきているという点もあります。

そうした中で、地域振興策をどのように現状の交通モードに沿った形で展開していくのか、ご検討いただけるとありがたいと思います。

その他、これから地域の中でさらにご説明に入られ、詳細を詰めていかれるということですので、それに期待しておりますが、やはり一番は、ロードマップを早い段階で提示していただけるようお願い申し上げまして、こちらは質問というよりも要望として受け止めていただければと思います。

(中村課長)

先生より生活交通、通学支援、そして観光の対応ということで、大きく3つのご意見を頂戴する中で、特に高校生の通学支援については言及され、様々なご要望、ご意見を頂戴したものと認識しております。

やはり、先般の住民説明会の中でも、特に高校生を抱える親御さんの方から、運賃に関するご意見を頂戴したところであります。

この点につきましては、市としましても、できるだけ負担感につながらないような対策を考えていければと思っております。

また、今後の取組の中で、利用者アンケートのお話もさせていただいたかと思いますが、実際に鉄道を利用している高校生からのご意見を直接伺いながら、どこまでこのバス運行計画に反映できるかということについても、並行して検討していければと思っております。

続いて、具体的なロードマップのお話でございますが、当然ながら今後の進捗等にもよるかと思えます。

次回の交通会議において進捗の方が順調に進めば、最終的な交通計画案などについて報告できればと考えております。

最後に、地域振興策についてでございますが、こちらは引き続き当該エリアにとって重要な取組だと認識しております。

今後のバスの利用促進や、沿線地域の活性化につながるような取組について、我々としても、庁内での検討や地域の方々のご意見を参考にしながら、活性化に必要な施策について引き続き検討を進めていければと思っております。

(成田委員)

今日は議題ということで協議が進んでおりますが、冒頭に説明がなかったため、確認させていただきます。

決定事項がないという理解でよろしいかと思いますが、もし何か決める内容があるのであれば、まず質問としてお伺いしたい点があります。

1点目ですが、特に設置要綱については説明がありませんでしたが、議決を行うかどうかはまだお聞きしていない状況です。

この設置要綱の第3条には所掌事務が定められており、本日の議題がどの項目に該当するのか、確認させていただきたいと思います。

例えば「乗合旅客運送に係る運賃」などは、まだ決まっていないので該当しないと思

われます。

ただ、本日の資料を見る限りでは、特に計画部分に明記されているわけではなく、第3条第6号の「前各号に掲げるもののほか、交通会議が必要と認める事項」に該当するのではないかと考えています。

このため、今日の議事が君津市としてどのように位置づけているのかのお考えをお伺いしたいと思います。

これが質問の1点目です。

2点目は、資料2ページ目の4番に記載されている鉄道利用者へのアンケートについてです。

10月上旬から実施予定とのことですが、アンケートの方法、実施主体、また対象者といった点について、会議中では説明がありませんでした。

今後の議論にも影響する重要な部分かと思いますので、実施後には、公共交通会議の委員にも結果の概要などをお示しいただけるのかどうか、お伺いしたいと思います。

3点目は、資料1ページ目の3番についてです。

代替交通に関する説明における意見と対応ということで整理されていますが、2行目に「ルート延伸や追加は、デマンドタクシーを活用し、定期的な運行は行わない。」とあります。

代替交通ということは、現在の久留里線を代替する意味合いであると理解していますが、このデマンドタクシーについては運行エリアが資料上では明確に示されていません。

君津市内には、一般路線バスやきみぴょん号など多数運行されていますので、既存のバス交通等の影響に配慮したと史料しますが、住民の方々からすると「病院へ直接行きたい」など、さまざまなご要望があると思います。

デマンドタクシーを活用すれば、エリアがかなり広がりますので、この辺の考え方について、少し補足をいただけるとありがたいです。

最後に4点目、これは意見として申し上げます。

代替交通の運賃については、バス転換により高校生の通学費用が大幅に増加しないよう配慮するとのご説明がありました。

JR東日本でも来年4月に運賃改定を行う旨が報道されています。

改定内容の詳細は不明ですが、現行運賃に対してなのか、改定後の運賃水準に対してなのかを整理しておかないと、誤解を生むおそれがあります。

その点の情報を提供いただけると齟齬がないと思いますので、ご配慮いただければありがたいと思います。

(中村課長)

今回の議題が議決事項に当たるかどうかという点でございますが、この久留里線に関する取り組みは、全国的にも関心度の高い事例でございます。そのため、これまでも、その都度、情報共有等をこの会議の場で行ってまいりました。

今回につきましては、委員おっしゃるとおり、最終的な運行計画案の内容について決を取るといったものではございませんが、過日の住民説明会において、現時点での運行計画案をお示しし、その中で寄せられたご意見について、今後事務局としてどのように対応していくのかという「対応の方向性」について、皆さまのご意見をいただきながら進めていきたいという思いがございます。

そうした経緯から、今回あえて議題として本案件を上げさせていただいた次第でございます。

続いて、アンケートに関するご質問についてですが、こちらはすでに10月上旬から実施しております。

内容としては、回答者の属性や久留里線の利用状況、代替交通案について確認をするもので、実際に久留里線を利用されている方に対して行いました。

その場で回答・回収させていただいたものもございますし、各駅に設置しております回収ボックスへ投函いただいた回答もございます。

現在は、回答を集計・分析しているところでございますので、今後、公共交通会議などで改めてフィードバックさせていただければと考えております。

次に、出された意見と対応の方向性におけるデマンドタクシーの活用についてでございますが、委員のご指摘のとおり、既存のきみぴょん号（デマンドタクシー）が、すでに小櫃、上総エリアで運行しております。

基本的には、このルートの延伸や追加の部分についてもデマンドタクシーによって既に網羅されている状況もございますので、既存のデマンドタクシーを活用させていただくこととし、あくまでこのバスの運行については、久留里線の代替交通の幹の部分に対応させていただく考えでございます。

最後に、JRさんの運賃改定に関するお話でございます。

私どもも、JR東日本において運賃改定が予定されていることは承知しております。

いずれの場合におきましても、バス転換に伴い、たとえば亀山から木更津までの通学において、「亀山～久留里間のバス回数券」＋「久留里～木更津間の通学定期券」と比較した場合、どうしてもバス転換後の費用のほうが高くなってしまう状況がございます。

そのため、JRさんの今後の動きも踏まえつつ、できる限りこれまでと同水準、あるいはそれ以下の通学定期となるよう、最低ラインを設定した上で対応策を検討してまいりたいと考えております。

（成田委員）

大変丁寧に、各所にわたってご説明いただきまして、ありがとうございました。

すべて内容は理解いたしましたが、1点だけ確認させていただきたいと思います。

設置要綱の第3条についてですが、私は第6号に基づいて今回の議題を扱われているのではないかと理解しております。

その点について、実際に第6号での対応ということによってよいのかどうか、ご回答をいただけるとありがたいと思っております。

よろしくお願いいたします。

（中村課長）

委員お見込みのとおり、この第3条第6号、「前各号に掲げるもののほか、交通会議が必要と認める事項」に該当するという認識のもとで、今回議題に上げさせていただいております。

また、もう1点漏れていました利用者アンケートの実施主体でございますが、市がバスの運行主体でもありますので、その意味からも市が実施することとしております。

ただし、対象が鉄道利用者であることから、JRさんにも多分にご協力をいただき、一

緒に取り組んでいるところでございます。

(藤代委員)

細かいことになりますが、デマンドタクシーにおいて利用者が多いのが、病院で言うと、榎本医院さんと永峯医院さんになります。運行案より青葉高校に行くということで、永峯医院さんの目の前になりますが、今のダイヤ案を見ると、帰りが少し厳しい印象です。

朝はちょうどいい時間にありますが、帰りの時間が少し難しいかなというところもあります。

また、榎本医院さんに関しては、亀山地区では使用しづらいような状況なので、この辺のダイヤは少し見直したほうがいいかなというところがございます。

あと細かいところになりますが、今、久留里駅から木更津駅に向かうＪＲ久留里線の乗り場ですが、１番線と２番線が半々ぐらいだと思います。バス代替になった場合には、なるべく１番線から発着していただきたいと思います。

どうしてかという、駅の構内に階段がありますので、足の不自由な方にとっては乗りづらいというか、バスから降りて平面で来る場合、１番線であればそのまま行けますので、こういった配慮をしていただければと思います。

あともう１点、先ほどから出ている定期券に関してですが、ＪＲ四国さんと徳島バスさんと共同の定期券を発行している例がございます。

今回の運行費用についてはＪＲさんが負担されるということなので、できればＪＲさんが現在販売している定期券をそのまま使って、コミュニティバスにも乗れるような仕組みをつくっていただければと思います。

(中村課長)

デマンドタクシーを運行していただいている方ならではのご意見で、大変参考になります。

ダイヤの調整につきましては、今後バス事業者や関係機関等とも連携しながら、さらに精度を高めていければと思っております。

また、デマンドの利用者状況等も踏まえつつ、この件に限らずご意見を賜りながら、より良いダイヤ設定ができればと考えております。

続いて、バスから鉄道への接続にあたっての乗り場の件ですが、こちらは今後ＪＲさんとの協議事項になるかと考えております。バスから鉄道へのシームレスな乗り継ぎは重要だと考えておりますので、ＪＲさんとも協議の上、対応可能かどうかを含めて検討を進めてまいります。

また、定期券の発行に関する他市での取り組みのご紹介については、大変貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

ＪＲ四国さんと徳島バスさんの取り組みがどのような制度設計で、どのような役割分担で行われているのか、また、そこに伴う課題は何かといった点を様々な視点から検討していく中で、本市の取り組みに適用可能かどうか、この点については、ＪＲさんとも調整すべき部分があるかと思っておりますので、慎重に検討してまいりたいと考えております。

(荒井会長)

他にご質問、ご意見ございますか。

それでは、議題1につきましては、承認ということでよろしいでしょうか。

～異議なし～

(荒井会長)

異議なしと認め、議題1は承認いたします。引き続き関係機関との協議を進めてください。

続きまして報告事項に移ります。

報告事項1「コミュニティバス中島・豊英線等の進捗について」事務局からの説明を求めます。

(森田主事)

報告事項1 「コミュニティバス中島・豊英線等の進捗について」

～ 資料に基づき説明 ～

(荒井会長)

ただいまの報告事項につきまして、ご質問・ご意見がありましたらお願いいたします。

～質問・意見等なし～

(荒井会長)

それではご意見等はないようですので、最後の報告事項に移ります。

報告事項2「ファースト・ラストワンマイルに対応した移動手段の検討について」事務局からの説明を求めます。

(久保主任主事)

報告事項2 「ファースト・ラストワンマイルに対応した移動手段の検討について」

～ 資料に基づき説明 ～

(荒井会長)

ただいまの報告事項につきまして、質疑やご意見等がございましたら、お願いします。

(成田委員)

資料3については概ね理解いたしましたが、今後の展望についてお伺いしたいと思えます。

まず、この事業は地域公共交通計画に位置付けている事業であると理解しておりますが、こういった結果になれば、計画に記載している「必要に応じて実験等を行う」に至るのか。この調査において、潜在需要が確認できれば実施されるのか、あるいは回答数が少なければ実施しないのか、そのあたりの進め方についてお聞かせいただければと思います。

続いて、次のステップに進まなかった場合、つまり今回の自治会以外を対象に実施する

場合についてですが、今回の調査結果を踏まえて、この会議にご報告いただき、その上で他の地区へ展開していくのか、あるいは今回の結果があまり芳しくなければ、別の地区を選定して行うのかといった、今後の方向性について補足してご説明いただけると、より理解が深まるかと思います。

(久保主任主事)

この調査を行う上での潜在需要という点についてのご質問かと思いますが、今回は潜在需要を判断するための明確な評価基準は設けておりません。

と言いますのも、調査対象地域によって人口規模や移動環境が大きく異なると考えておりますので、単一の基準を設けることは、他地域との比較において妥当性を欠くおそれがあると判断したためでございます。

では、どのように判断していくのかという点につきましては、回答数の多寡ではなく、回答を集計・分析し、その傾向を把握する中で、同様のニーズが一定数確認できた場合に「需要がある」と整理し、今後どのような公共交通手段が最適かを検討してまいりたいと考えております。

今回の調査は150世帯程度の自治会を対象として実施しておりますので、今後はその結果を分析しながら、他地域への横展開も検討してまいりたいと考えております。

(成田委員)

横展開を考えているということでございますが、基準がない中で判定をしていくということですので、この地区での調査内容については、一度この地域公共交通会議にご報告・ご検討いただいた上で、次の地区に進めるのか、あるいは一定の結果が見つかるまで事務局だけで進めていくのか、そのあたりについて、ご回答がいただけなかったように思いますので、確認させていただければと思います。

(中村課長)

私の方から補足も含めて回答させていただきます。

まず、ファースト・ラストワンマイルに対応した移動手段については、様々な形があるかと思っております。

どの地区にどの交通モードがフィットするのかということにつきましては、当然ながらその地域の需要や、実際のデータを収集しなければ、なかなかその地域に見合ったモードの検討というのはできないというのが実際でございます。

現状では、特に市街地におけるデータ収集が不足しているというのが実態でございます。

そういった意味におきまして、今回の地区では自治会長さんにも多大にご協力をいただきながら、各世帯アンケートの回収にもご協力いただけたというお話をいただいております。多くの方からご回答をいただけるのではないかと考えております。

まずは、そういったデータを一つ一つ、地区ごとに収集させていただきながら、「やってみて考える」という形ではなく、データに基づいて何が必要かを判断していく。そうした取り組みを進めていきたいと考えており、そのファーストステップとして、今回は、三直台谷自治会を選定させていただいたということでご理解いただければと思います。

(荒井会長)

他に何かございますか。

それでは、ご意見等ないようですので、以上をもちまして、本日の議事を終了いたします。

皆様ご協力ありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しいたします。

【その他事項】

尾関委員より、久留里線沿線の魅力を詰め込んだモニターツアー「久留里線Timeless Journey（タイムレスジャーニー）」についての報告があった。

- ・JR久留里線の魅力発信を目的として、地域のいとなみを体感する1泊2日のツアーと風景を楽しめる日帰りツアーを関係団体の協力のもと企画した。
- ・募集定員10組に対し倍以上の応募があり、抽選となるなど好評を得た。今後は参加者の意見を踏まえ、次回以降の展開につなげていく予定。

(佐久間室長)

最後に、事務局から、次回の会議予定について、ご報告申し上げます。

令和7年度第3回会議につきましては、12月頃の開催を予定しております。開催日程等が決まりましたら、ご連絡をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、令和7年度第2回君津市地域公共交通会議を閉会といたします。

本日はご多用の中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございました。

午後3時06分閉会

会議録署名人 成田 斉